

○氏名 : HOANG TRONG KHUYEN (ホアン チョン クエン)

○会員番号 : PN0219

○専門分野 : 土木工学

○保有資格 : 博士 (工学) コンクリート技士

FE 試験受験 : 2020/12 (Civil)

PE 試験受験 : 2021/04 (Civil Structural)



1. はじめに

私は母国ベトナムの大学を卒業した後、2011 年から日本に来て、5 年間で修士・博士課程を修了した。2016 年から、日本企業の準大手ゼネコンで従業している。会社が求める資格ではないが、世界的に認める PE 資格取得に強い気持ちをもっている。大学時代から今の仕事まで、建築構造・土木構造系を専攻したので FE Civil, PE Civil Structural を選択しました。

2. FE 試験 (Civil, COMPUTER BASED EXAM)

2.1 合格までの経緯

2019 年 4 月上旬に受験資格審査のため、願書・卒業証明書・成績証明書などの書類の準備を始めた。2019 年 5 月上旬に J P E C に出願して、5 月下旬に審査結果が届いた。2019 年 6 月上旬に My NCEES で試験を申し込んだ。仕事の都合より、受験日程調整が難しい状況のため、2019 年末まで受験できなかった。その後、コロナ禍・緊急事態宣言発令で Pearson VUE の予約ができなかった。受験有効期間が 1 年間ですが、NCEES へ問い合わせし、コロナ禍の影響で 2 年間に延長していただいた。緊急事態宣言解除の後、Pearson VUE の予約ができて、2020 年 12 月上旬に受験し、その 2 週間後、合格結果が発表された。

2.2 参考書

- ① NCEES FE Civil Practice Exam
- ② FE Reference Handbook (NCEES)
- ③ FE Review Manual: Rapid Preparation for the Civil Fundamentals of Engineering Exam
- ④ FE Civil Practice Problems

参考書は Amazon Japan・Amazon US で購入した。国内の Amazon Japan ではすぐ届いたが、Amazon US で購入した本は自宅へ届くまでに約一ヶ月がかかりました。②は NCEES で無料習得できる。

2.3 勉強方法

Exam specification を把握して勉強を進めるのがポイントです。③は主な復習資料ですが、厚くて、関係ない部分があるので、specification に基づいて、関係する部分を判断して、着目して学習する。

FE Reference Handbook は各 FE 試験用に共有のもので、**自分の FE に関する部分の位置、構成の慣れが大事です。**Handbook での図・表の使い方をはっきり理解しておくこと。

YouTube channel of Prof. Gregory Michaelson at Marshall University での FE civil review ビデオ^{*1} がすごく助かった。FE civil の exam specification によるセクションごとのビデオがあるので、わかりやすいし、簡単に復習できる。

*1 <https://www.youtube.com/watch?v=8b6MP2IuuHI> 等

2.4 試験実施の様子・Exam tips

試験は CBT で環境が良かった。

Exam tips : 5 時間 20 分で 110 問を解答するために、**時間管理が大事**です。1 問 3 分以内で解くことはよく言われているが、前半より午後での質問は解く時間がかかるので、**前半の 55 問で 2 時間 20 分 → 25 分休憩 → 前半の 55 問で 3 時間**の時間割がお勧めです。

3. PE 試験 (Civil Structural, PENCIL-AND-PAPER EXAM)

2.1 合格までの経緯

2020 年末に FE 試験合格がわかりました。年末年始の連休間、受験出願の書類の準備を行った。2021 年 1 月上旬に JPEC に出願して、2 月上旬に審査結果が届いた。2021 年 2 月下旬に My NCEES で試験を申し込んだ。2021 年 4 月 25 日に受験し、その 5 週間後、合格結果を発表された。

2.2 参考書

- ① NCEES PE Civil Structural Practice Exam
- ② PE Civil Reference Manual
- ③ Practice Problems for the Civil Engineering PE Exam
- ④ Civil Engineering PE All-in-One Exam Guide: Breadth and Depth
- ⑤ Design standards for depth exam (AASHTO, IBC, ASCE 7, ACI 318, AISC, PCI, NDS)

テキスト参考書は Amazon US で購入し、日本に輸入した。配送は約一ヶ月かかりました。Design standards が持っている PDF を印刷した。Exam specification で記載される edition も使用することも重要です。

2.3 勉強方法

Exam specification を把握して勉強進むのがポイントです。②と④は主な復習資料ですが、PE Civil (Construction, Geotechnical, Structural, Transportation, Water Resources and Environmental)の 5 depth modules を学習できる資料ですので、specification に基づいて自分の depth module を着目に学習すること。

BREAD exam は FE Reference Handbook で学習しても良い。

1 問を 6 分以内に解くことが必要ですので、コンクリート構造・鋼構造は設計用の図・表の使い方をはっきり理解しておくこと。実際の試験は長い計算をしなくても、設計用の図・表で解答できる問題数が多かった。

YouTube channel of Prof. Gregory Michaelson at Marshall University での設計の講演ビデオ*2 が沢山あるので、わかりやすいし、簡単に復習できる。

*2

https://www.youtube.com/watch?v=n63UJH-My0I&list=PLCV90yAY5K-XzR6OlpwH3F_xkZ-JEvmHtg 等

2.4 試験実施の様子・Exam tips

コロナ鍋で受験したが、JPEC では色々な感染防止対策を実施した上で、安心でき、試験が無事に終わりました。参考書の目次によって試験中に、検索対応できるが、codes・specifications は細かい部分までの目次がないので**最後ページの言葉のインデックスでも検索できる。**

8 時間の超長い試験ですので、**体力管理・時間管理が大事です。**

4. 今後の方針

試験が難しかったが、合格後の PE 登録も大きな山場だと感じています。JSPE で今後得られる情報や、先輩の方々のお力添えを得つつ、登録を行いたいと考えています。

以上